

科目名	インターンシップ1							年度	2025		
英語科目名								学期	通年		
学科・学年	電子・電気科	電気工事コース	1年次	必/選	選3	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	内田寿彦				教員の実務経験	あり	実務経験の職種	電気工事			
【科目の目的】											
<p>キャリアデザイン系の科目で学んだ社会人・組織人としての行動やマナーの基礎をもとに、実践的に社会人としてのマナーや基礎知識、新しい技術の進展に対応できる柔軟な思考と創造性について学ぶ。仕事そのものだけでなく、受け入れ先企業の組織風土や人間関係も含めて総合的に「仕事」について体感することを目的とする。</p>											
【科目の概要】											
<p>インターンシップを実施する企業で、就業体験をする。事前に届け出が必要。インターンシップ終了後に参加レポートを提出する。授業としての要件を満たすためにはインターンシップ先で5日以上の実習を行うことが必要である。インターンシップ参加が決定した学生には、事前ガイダンスを行う。この授業は実務経験の豊富な企業の指導者の下で社会人としての業務経験を得ることができる実践的科目である。</p>											
【到達目標】											
<p>キャリアデザイン系の科目で学んだ社会人・組織人としての行動やマナーの基礎をもとに、実践的に社会人としてのマナーや基礎知識、新しい技術の進展に対応できる柔軟な思考と創造性の習得を目指す。インターンシップで企業・社会の仕組みを実体験することで、職業選択の際に役立てることが出来るようになることを目標とする。</p>											
【授業の注意点】											
<p>必ず事前にインターンシップ企業、担当者、実施時期を教員に申し出を行い許可を得ること。事後、もしくはすでにインターンシップ開始後に申し出た場合、単位認定はできない。参加者は、必ずインターンシップ保険に加入のこと。</p>											
評価基準＝ルーブリック											
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力						
到達目標 A	ビジネスマナーが身につけており、自主的に行動することができる		ビジネスマナーが身につけている		ビジネスマナーが身につけていない						
到達目標 B	事前に情報収集を行い、しっかり業務内容を理解している		業務内容を理解している		業務内容を理解していない						
到達目標 C	技術力が飛躍的に向上した		技術力が向上した		技術力が向上しなかった						
到達目標 D	積極的に問題点を見つけ、課題解決の手段を考えることができる		課題解決力が身につけている		課題解決力が身につけていない						
到達目標 E	成果をまとめ、質問にもスムーズに対応することができる		成果をまとめ、発表することができる		成果をまとめることができない						
【教科書】											
キャリアサポートブック											
【参考資料】											
【成績の評価方法・評価基準】											
<p>レポート 40% 授業内容の理解度を確認するために実施する          成果発表（口頭・実技） 20% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する          平常点 40% インターンシップ先担当者からの「評価報告書」</p>											
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。											

科目名		インターンシップ1			年度	2025	
英語表記					学期	通年	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価	
1	ガイダンス	社会人としての姿勢やビジネスマナーを学ぶ	1 ビジネスマナー	社会人としてのビジネスマナーが身についている	2		
2	会社説明・業務説明	企業の特長、業務内容を理解する	1	企業の特長	企業の特長を理解している	2	
			2	業務説明	業務内容を理解する		
			3				
3	業務実習①	業務実習より技術力の向上を図る	1 業務実習	業務実習を通じて技術力を身につける	2		
4	業務実習②	業務実習より技術力の向上を図る	1 業務実習	業務実習を通じて技術力を身につける	2		
5	業務実習③	業務実習より技術力の向上を図る	1 業務実習	業務実習を通じて技術力を身につける	2		
6	業務実習④	業務実習より技術力の向上とともに、課題解決力を身につける	1 業務実習	業務実習を通じて技術力を身につける	2		
7	業務実習⑤	業務実習より技術力の向上とともに、課題解決力を身につける	1 業務実習	業務実習を通じて技術力を身につける	2		
8	成果発表	成果をまとめ、プレゼンを行う	1	資料作成	資料を作成する	2	
			2	プレゼンテーション	成果発表を行う		
			3				
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等